

第52事業年度

(平成31年度／令和元年度)

事業報告書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

第52事業年度事業報告書

(平成31年度/令和元年度)

自 平成31年4月1日
至 令和2年3月31日

第1. 事業概況について

I. 契約数量について

年度当初の契約数量は、次表のとおり1,289,072.240トン（前年比100.8%、+10,514.83トン）となったが、その後、加入生産者の廃業等（78戸）により2,664.74トンの減少となった。その内、9月に来襲した令和元年台風15号の影響による減少が663.5トン発生した（廃業1戸、数量減少5戸）。

また、下期の基金間移動による転出契約は24件（全農基金へ1件、商系基金へ23件）、転出数量（下期合計）3,733トン（全農基金へ48トン、商系基金へ3,685トン）となった一方、転入契約は18件（全農基金から1件、商系基金から17件）、転入数量（下期合計）2,684トン（全農基金から48トン、商系基金から2,636トン）となり、差引きの契約件数は6件の転出超過、契約数量は1,049トンの減少となった。

この結果、令和元年度末の確定契約数量は1,285,358.500トン（確定契約前年比100.7%、+9,443.51トン）なった。

(単位：トン)

	当初契約数量	解約数量	基金間移動数量	確定契約数量
第1四半期	317,893.150			317,893.150
第2四半期	316,337.930	296.970		316,040.960
第3四半期	328,131.600	931.460	▲501.500	326,698.640
第4四半期	326,709.560	1,436.310	▲547.500	324,725.750
年度計	1,289,072.240	2,664.740	▲1,049.000	1,285,358.500

Ⅱ. 準備財産について

1. 通常補填準備財産

(1) 通常補填積立金

① 積立金の額（単価）

当年度の単位数量当たりの積立金及びその負担額については、平成31年1月24日開催の第296回理事会並びに第222回評議員会において、トン当たり1,500円とし、その負担区分は以下のとおり決議した。

負担区分	通常補填積立金の額
加入生産者	トン当たり500円
加入会員	トン当たり250円
契約会員	(注) トン当たり750円 (含積増金500円)
計	トン当たり1,500円

また、新規加入者が既加入者との均衡を保つために納入する本年度の別途納入金については、トン当たり930円とした。

② 積立金の積立

令和元年度は、第1四半期から第4四半期までについて、積増金を含む積立金の積立を以下のとおり実施した。

なお、以下のとおり当年度は原料情勢が安定し通常補填金が発動されておらず、通常補填積立金財源が十分に確保されていることから、令和元年10月18日開催の第302回理事会並びに第226回評議員会において、第1四半期から第3四半期の積増金部分（トン当たり500円）の減額並びに第4四半期積立金（トン当たり1,500円）の全額免除が決議された。

【第1四半期】

第1四半期の積立金については、平成31年4月26日、基本積立金部分（トン当たり1,000円）として317,893,150円を受け入れた。尚、積増金部分（トン当たり500円、158,946,575円）は延伸とした。

【第2四半期】

第2四半期の積立金については、令和元年6月28日、基本積立金部分（トン当たり1,000円）として316,040,960円を受け入れた。尚、積増金部分（トン当たり500円、158,020,480円）は延伸とした。

【別途納付金】

別途納付金（トン当たり930円）については、令和元年6月28日、令和元年度分

として8,340,333円を受け入れた。

【第3四半期】

第3四半期の積立金については、令和元年台風15号対応として、被害の大きい地域（全酪連・日鶏連の千葉県を対象）の積立金の納入期限を第4四半期の納入期限と同時期に延期したため、全酪連・日鶏連の千葉県を除いた会員分として令和元年9月30日に、基本積立金部分（トン当たり1,000円）299,758,140円を受け入れ、延期した会員分については納入期限とした令和元年12月27日までに、26,940,500円を受け入れた。

【第1、2、3四半期分積立金（積増金トン当たり500円）について】

第302回理事会並びに第226回評議員会（令和元年10月18日開催）において、納入を延伸していた1号会員負担の第1、2、3四半期分積立金（積増金トン当たり500円）は納入を行わないことが決議された。

【第4四半期】

第302回理事会並びに第226回評議員会（令和元年10月18日開催）において、第4四半期の積立金（トン当たり1,500円）は、全額免除とすることが決議された。

この結果、令和元年度通常補填積立金収入は、968,973,083円となった。

(2) 価格差補填金の交付

【第1四半期】

当年度第1四半期に係る平均輸入原料価格がトン当たり28,712円となり、また、同四半期に係る基準輸入原料価格がトン当たり28,996円であるとの報告を受け、通常価格差補填金の交付の有無を判断する業務報告書第19条第1項の基準に照らし合わせた結果、当四半期においては、その交付基準を満たしていないため、通常価格差補填金の交付を行わないこととした。

【第2四半期】

当年度第2四半期に係る平均輸入原料価格がトン当たり27,839円となり、また、同四半期に係る基準輸入原料価格がトン当たり29,379円であるとの報告を受け、通常価格差補填金の交付の有無を判断する業務報告書第19条第1項の基準に照らし合わせた結果、当四半期においては、その交付基準を満たしていないため、通常価格差補填金の交付を行わないこととした。

【第3四半期】

当年度第3四半期に係る平均輸入原料価格がトン当たり27,788円となり、また、同四半期に係る基準輸入原料価格がトン当たり28,812円であるとの報告を受け、通常価格差補填金の交付の有無を判断する業務報告書第19条第1項の基準に照らし合

わせた結果、当四半期においては、その交付基準を満たしていないため、通常価格差補填金の交付を行わないこととした。

【第4四半期】

当年度第4四半期に係る平均輸入原料価格がトン当たり27,281円となり、また、同四半期に係る基準輸入原料価格がトン当たり28,286円であるとの報告を受け、通常価格差補填金の交付の有無を判断する業務報告書第19条第1項の基準に照らし合わせた結果、当四半期においては、その交付基準を満たしていないため、通常価格差補填金の交付を行わないこととした。

この結果、令和元年度の通常価格差補填金支出は無かった。

(3) 期間外補填金の交付

平成30年度第4四半期の通常価格差補填金の交付は令和元年5月15日に1号会員(全国連)へ交付したが、交付対象数量小数点以下の計算に1円誤差が生じたため、令和元年度において1円を交付した(全酪連・令和元年6月14日交付)。

(4) 基金間移動に伴う生産者持ち分の財源移動

令和元年度上期の基金間移動において、3基金間における業務方法書に基づき財源移動(精算)を行った。

当基金における精算としては、商系基金から10,024,740円を受け入れ、全農基金へ753,960円を支払い、結果として9,270,780円のプラスとなった。

また、令和元年度下期の基金間移動についても、同様に3基金間の財源移動(精算)を行い、当基金における精算としては、商系基金へ2,033,890円の支出を行った。

この結果、当基金の令和元年度基金間移動の精算における受入金は10,024,740円、支出金は2,787,850円となり、差引き7,236,890円の財源増加となった。

(5) 補填金の返還

令和元年度の契約数量を合理的な理由なく一定量(20%)以下に減少させた場合に借入金による通常価格差補填金を返還する取組み(80%ルール)において、返還を要する1名の生産者から9,509円の返還を受けた。

2. 異常補填準備財産

(1) 異常補填積立金の積立て

当年度において、異常補填積立ては無かった。

(2) 異常価格差補填金の交付

当年度の第1四半期から第4四半期までの各四半期において、異常価格差補填金を発動する要件を満たさなかったため、異常価格差補填金の交付は無かった。

3. 借入金について

(1) 借入金の償還について

安定機構から借り入れている「通常補填財源支援事業貸付金」及び「通常補填財源強化事業貸付金」の一部償還として、借入契約書の約定により、安定機構理事長から償還の指示があった通常補填準備財産の前年度末残高の約2割の1,093,000,000円の償還を令和元年5月31日に行った。

また、当初令和2年度に償還することとしていた730,010,000円については、当年度において原料情勢が安定しているため通常補填金交付が実施されておらず、また通常補填積立金財源が十分に確保されていることから、(公社)配合飼料供給安定機構並びに農林水産省生産局長の承認を得た後、令和2年1月23日に開催された第303回理事会並びに第227回評議会において年度内償還が決議され、令和2年2月20日に償還を行った。この償還により借入金は完済した。

(2) 借入金の残高について

当年度末の借入金残高は、下表のとおりである。

平成31年度／令和元年度末の長期借入金残高 (単位：千円)

	期首借入額	期中返済額	期末借入額	当初約定返済期間
通常補填財源支援事業貸付金	451,160	451,160	0	平成30年度～35年度
平成25年度通常補填財源強化事業貸付金	556,800	556,800	0	平成35年度～36年度
平成26年度通常補填財源強化事業貸付金	815,050	815,050	0	平成37年度～38年度
計	1,823,010	1,823,010	0	

第2. 基金の運営について

預金利息並びに有価証券の運用果実として540,247円を受け入れた。

また、契約会員（1号会員）から前年度に引き続き当初契約数量に対してトン当たり10円の会費（負担金）12,890,720円の納入を受けた。

なお、令和元年9月27日満期となった「利附農林債（100,000,000円）」は定期預金（農林中央金庫、預入期間3年）へ移行し預け入れた。

第3. 役員の補欠選任について

I. 理事

理事の補欠選任については以下のとおり実施した。

副理事長 上田 正 氏より定時総会（令和元年6月20日）の終了をもって理事を辞任する申し出、並びに 理事 安藤 孟 氏の逝去により、役員選任規程に基づき日本養鶏農業協同組合連合会及び全国開拓農業協同組合連合会から以下の補欠役員候補者の推薦があったので、第52事業年度定時総会（令和元年6月20日開催）において当基金理事として兩名を選任した。

新理事

マルイ農業協同組合 (鹿児島県出水市)	代表理事組合長 <small>おかだ かずひろ</small> 岡田 一弘
栃木県開拓農業協同組合 (栃木県那須塩原市)	代表理事組合長 <small>きくち ふみお</small> 菊地 文夫

なお、当理事の任期は前任者の任期の終了する時までとなるため、令和2年6月に開催予定の定時総会の終結の時まで。

II. 評議員

評議員補欠選任については以下のとおり実施した。

評議員 貞廣 修 氏より令和元年8月23日付けにて評議員辞任の届け出があり、評議員会に関する規程に基づき全国開拓農業協同組合連合会から以下の評議員候補者の推薦があったので、第302回理事会並びに第226回評議員会（令和元年10月18日開催）において当基金評議員として選任した。

新評議員

北海道チクレン農業協同組合連合会 (北海道札幌市)	代表理事理事長 <small>いとう しげとし</small> 伊藤 重敏
------------------------------	--

なお、当評議員の任期は前任者の任期の終了する時までとなるため、令和2年3月末まで。

第4. 業務方法書、事務処理要領及び諸規定の一部変更について

I. 令和元年10月18日開催の第302回理事会並びに第226回評議員会において、業務方法書及び事務処理要領の一部変更について、以下のとおり承認の決議を受けた。

①令和元年台風15号により被災した加入生産者及び加入会員に限り、第3四半期以降の契約数量変更（解約）手続きや積立金納入などの期限を延伸することを「業務方法書」及び「事務処理要領」の一部変更として附則にて規定した。

II. 令和2年1月23日開催の第303回理事会並びに第227回評議員会において、評議員会に関する規程改定及び就業規則改定について、以下のとおり承認の決議を受けた。

①評議員会に関する規程改定

現行の当規程において、評議員会の構成定数が現在の構成定数に改定されていないため、また、評議員の任期が明確に定められていないため規定した。

②就業規則改定

現行の当規則において、前回改定（平成28年5月19日）以降、新たに改定を要する事項が改定されていないため規定した。

第5. 総会、理事会、評議員会及び監査について

総会、理事会、評議員会及び監査を次表のとおり開催し、各議案について慎重審議の上議決された。

第6. 常任理事会、幹事会について

常任理事会、幹事会を次表のとおり開催し、所要事項について慎重審議した。

第7. 行政庁への申請及び報告事項について

業務運営に必要な資料を整備し、次表のとおり関係機関に申請及び報告し、基金制度の適正な運営を行った。

表1 総会

区 分	年 月 日	内 容
定 時 総 会 (場所) 全酪連会議室 (酪農会館)	令和元年6月20日	1. 第51事業年度(平成30年度)貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、キャッシュ・フロー計算書の承認の件 2. 第52事業年度 令和元年度(平成31年度)の理事及び監事の報酬額の件 3. 第52事業年度 令和元年度(平成31年度)の会費の額の件 4. 役員の補欠選任の件

表2 理事会（6回）、評議員会（5回）

区 分	年 月 日	内 容
第298回 理事会 第223回 評議員会 (場所) 全酪連役員会議室 (酪農会館)	平成31年4月25日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成30年度第3四半期の通常価格差補填金交付実績について 2. 平成31年度通常補填金契約数量について 3. 第51事業年度（平成30年度）第2回臨時総会の結果について 4. 平成30年度第4四半期に係る価格差補填金の交付について 5. 保有有価証券の満期に伴う取扱いについて 6. 財務状況について（別途納付金単価の変更について） 7. 借入金の償還について 8. 今後の会議等開催予定について
第299回 理事会 第224回 評議員会 (場所) 全酪連役員会議室 (酪農会館)	令和元年5月22日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成30年度第4四半期に係る通常価格差補填金交付実績について 2. 借入金の償還について 3. 通常補填積立金の積増金の取扱いについて 4. 令和元年度（平成31年度）別途納付金単価の変更について 5. 第51事業年度（平成30年度）事業報告の承認について 6. 第51事業年度（平成30年度）貸借対照表、正味財産増減計算書、貸借対照表と正味財産増減計算書の附属明細書、財産目録、並びにキャッシュ・フロー計算書の承認について 7. 第52事業年度 令和元年度（平成31年度）の理事及び監事の報酬額について 8. 第52事業年度 令和元年度（平成31年度）の会費の額について 9. 第52事業年度 令和元年度（平成31年度）事業計画書及び収支予算書の変更について 10. 第52事業年度 令和元年度（平成31年度）定時総会の日時及び場所並びに目的である事項等について

区 分	年 月 日	内 容
第300回 理 事 会 第225回 評 議 員 会 (場所) 全酪連役員会議室 (酪農会館)	令和元年6月20日	1. 補欠選任の役員候補者について 2. 第301回理事会の開催について
第301回 理 事 会 (場所) 全酪連役員会議室 (酪農会館)	令和元年6月20日	1. 役付理事（副理事長）の選定について
第302回 理 事 会 第226回 評 議 員 会 (場所) 全酪連役員会議室 (酪農会館)	令和元年10月18日	1. 令和元年度第2四半期に係る価格差補填金について 2. 令和元年度下期からの基金間移動について 3. 令和元年度第3四半期以降に係る価格差補填数量契約の変更について 4. 評議員の委嘱について 5. 「業務方法書」及び「事務処理要領」の一部変更について (台風15号による契約数量変更及び積立金納入の期限延伸対応) 6. 平成31年度・令和元年度の通常補填積立金の取扱いについて 7. 会員（浮羽養豚組合）の脱退承認について 8. 定期預金の積立について 9. 令和2年度以降の事業運営における業務費及び会費について

区 分	年 月 日	内 容
第303回 理 事 会 第227回 評 議 員 会 (場所) 全酪連役員会議室 (酪農会館)	令和2年1月23日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和元年度第3四半期に係る価格差補填金について 2. 令和元年度下期基金間移動に伴う生産者持ち分財源移管(精算)について 3. 令和元年度価格差補填数量契約の変更について 4. 任期満了に伴う評議員の委嘱について 5. 借入金残高の令和元年度内全額償還について 6. 第53事業年度(令和2年度)通常補填積立金単価及び別途納付金単価について 7. 第53事業年度(令和2年度)第1四半期に係る通常積立金免除について 8. 第53事業年度(令和2年度)事業計画書及び収支予算書の承認について 9. 規定(規程・規則)の一部改定について

表3 監事監査（2回）、公認会計士監査（1回）、四半期末検査（4回）、月次検査（12回）

区 分	年 月 日	内 容
月次検査（3月）	平成31年4月1日	3月入出金及び残高検査
月次検査（4月）	令和元年5月8日	4月入出金及び残高検査
公認会計士監査	令和元年5月10日、13日	第51事業年度公認会計士監査
四半期末検査	令和元年5月14日	平成30年度第4四半期末残高証明照合 予算実績対比（全畜連）
監 事 監 査	令和元年5月16日	第51事業年度決算監査
月次検査（5月）	令和元年6月3日	5月入出金及び残高検査
月次検査（6月）	令和元年7月1日	6月入出金及び残高検査
月次検査（7月）	令和元年8月2日	7月入出金及び残高検査
四半期末検査	令和元年8月28日	令和元年度（平成31年度）第1四半期末残 高証明照合 予算実績対比（全酪連及び小林監事立会）
月次検査（8月）	令和元年9月3日	8月入出金及び残高検査
月次検査（9月）	令和元年10月1日	9月入出金及び残高検査
月次検査（10月）	令和元年11月1日	10月入出金及び残高検査
四半期末検査	令和元年11月14日	令和元年度第2四半期末残高証明照合 予算実績対比（全開連）
監 事 監 査	令和元年11月25日	第52事業年度上期監事監査

区 分	年 月 日	内 容
月次検査（11月）	令和元年12月2日	11月入出金及び残高検査
月次検査（12月）	令和2年1月6日	12月入出金及び残高検査
月次検査（1月）	令和2年2月3日	1月入出金及び残高検査
四半期末検査	令和2年2月27日	令和元年度第3四半期末残高証明照合 予算実績対比（日鶏連）
月次検査（2月）	令和2年3月2日	2月入出金及び残高検査

表4 常任理事会（7回）、幹事会（8回）

区 分	年 月 日	内 容
第310回 常任理事会 第412回 幹事会 (場所) 全酪連役員会議室 (酪農会館)	平成31年4月23日	報告事項 当月入出金及び残高検査 平成30年度第3四半期末検査 協議事項 平成31年4月25日開催「第298理事会・ 第223回評議員会」付議事項の検討
第311回 常任理事会 第413回 幹事会 (場所) 全酪連役員会議室 (酪農会館)	令和元年5月20日	報告事項 当月入出金及び残高検査 平成30年度決算会計監査 平成30年度第4四半期末検査 平成30年度決算監事監査 協議事項 令和元年5月22日開催「第299回理事会・ 第224回評議員会」付議事項の検討
第312回 常任理事会 第414回 幹事会 (場所) 全酪連役員会議室 (酪農会館)	令和元年6月17日	報告事項 当月入出金及び残高検査 協議事項 令和元年6月22日開催「第300回理事会・ 第225回評議員会」付議事項の検討
第313回 常任理事会 第415回 幹事会 (場所) 全酪連役員会議室 (酪農会館)	令和元年7月18日	報告事項 当月入出金及び残高検査 畜産基金の人員体制について 協議事項 ・収支予算書関連 ・理事、評議員への報告書の送付につい て

区 分	年 月 日	内 容
第416回 幹事会 (場所) 全酪連役員会議室 (酪農会館)	令和元年8月29日	報告事項 令和元年度(平成31年度)の業務費見込みについて 協議事項 ・令和元年度第3四半期通常積立金について ・今後の業務費(事業費・管理費)、会費の取扱いについて ・令和元年度積立金の取扱いについて
第314回 常任理事会 第417回 幹事会 (場所) 全酪連役員会議室 (酪農会館)	令和元年9月9日	報告事項 当月入出金及び残高検査 平成31年度/令和元年度第1四半期検査 協議事項 ・令和元年度第3四半期通常補填積立金について ・令和元年度積立金の取扱いについて ・今後の業務費(事業費・管理費)、会費の取扱いについて その他 ・会計ソフトの更新について
第315回 常任理事会 第418回 幹事会 (場所) 全酪連役員会議室 (酪農会館)	令和元年10月15日	報告事項 当月入出金及び残高検査 協議事項 令和元年10月18日開催「第302回理事会・第226回評議員会」付議事項の検討
第316回 常任理事会 第419回 幹事会 (場所) 全酪連役員会議室 (酪農会館)	令和2年1月20日	報告事項 当月入出金及び残高検査 協議事項 令和2年1月23日開催「第303回理事会・第227回評議員会」付議事項の検討

表5 行政庁への申請及び報告事項

区 分	年 月 日	内 容
国税庁課税部 審理室長	令和元年6月25日	当基金が行う配合飼料の価格差補填事業に係る資金の平成30年度の収支状況について（報告） 平成29年12月18日付、課審6-13、課審5-16により国税庁長官から指定を受けている配合飼料価格差補填業務に係る資金のうち、平成30年度における収支状況を報告した。
農林水産省 生産局長	令和元年6月25日 令和元年10月8日 令和元年12月26日	上記の当収支状況を国税庁課税部審理室へ報告した旨を報告した。 通常補填積立金の令和元年度第1、第2、第3四半期の減額（積増金トン当たり500円）、並びに第4四半期の免除を申請した。 通常補填積立金の令和2年度第1四半期の免除を申請した。

第8. 会員数及び入会預り金の額について

会員の資格		一号会員	二号会員	三号会員	四号会員	計
会 員 数	平成30年度末現在	4	217	2	72	295
	増加	加 入				0
	減少	脱 退		1		1
	令和元年度末現在	4	216	2	72	294
入 会 預 り 金 の 額 (千円)	平成30年度末現在	152,340	6,300	180,000	2,010	340,650
	増加	加 入				0
	減少	脱 退		10		10
	令和元年度末現在	152,340	6,290	180,000	2,010	340,640

【会員異動の内容】

(1) 加入会員
なし

(2) 脱退会員(1会員1口)

会 員 名	会員区分	所属団体	口数	脱 退 日
浮羽養豚組合	2号会員	全畜連	1	令和元年10月31日

第9. 役員名簿

令和2年3月31日現在

理事監事の別	氏名	出身会員		常勤・非常勤
		名称	役職等	
理事長	砂金甚太郎	全国酪農業協同組合連合会	代表理事会長	非常勤
副理事長	岡田一弘	マルイ農業協同組合	代表理事組合長	非常勤
専務理事	深井厚夫	全国酪農業協同組合連合会		常勤
理事	小谷英穂	全国酪農業協同組合連合会	常務理事	非常勤
理事	宗像実	福島県酪農業協同組合	代表理事組合長	非常勤
理事	尾形文清	ふくおか県酪農業協同組合	代表理事組合長	非常勤
理事	村上進	全国開拓農業協同組合連合会	代表理事専務	非常勤
理事	菊地文夫	栃木県開拓農業協同組合	代表理事組合長	非常勤
理事	杉原健一	日本養鶏農業協同組合連合会	副会長理事	非常勤
理事	白岩茂樹	全国畜産農業協同組合連合会	代表理事専務	非常勤
理事	斉藤功	茨城県畜産農業協同組合連合会	代表理事会長	非常勤
監事	小林幹男	赤城酪農業協同組合連合会	代表理事副会長	非常勤
監事	坏幸一	岩手花平農業協同組合	代表理事組合長	非常勤
以上 理事 11名 監事 2名 計 13名				

第10. 評議員名簿

令和2年3月31日現在

氏 名	出 身 会 員	
	団 体 名	役 職
高 橋 春 男	標 茶 町 農 業 協 同 組 合	参 事
伊 藤 重 敏	北 海 道 チ ク レ ン 農 業 協 同 組 合 連 合 会	代 表 理 事 理 事 長
中 村 益 実	青 森 県 畜 産 農 業 協 同 組 合 連 合 会	参 事
川 嶋 一 久	酪 農 と ち ぎ 農 業 協 同 組 合	専 務 理 事
塚 本 洋 平	農 林 中 央 金 庫	食 農 法 人 営 業 本 部 営 業 第 四 部 副 部 長
竹 田 実	広 島 中 央 養 鶏 農 業 協 同 組 合	代 表 理 事 組 合 長
近 藤 昌 伸	岐 阜 県 酪 農 農 業 協 同 組 合 連 合 会	参 事
岡 田 征 雄	全 国 酪 農 農 業 協 同 組 合 連 合 会	企 画 管 理 部 長
白 井 靖 彦	全 国 開 拓 農 業 協 同 組 合 連 合 会	参 事
鈴 木 崇 之	日 本 養 鶏 農 業 協 同 組 合 連 合 会	事 業 部 事 業 課 長
露 崎 正 二 郎	全 国 畜 産 農 業 協 同 組 合 連 合 会	事 業 部 長
以 上		11名